



戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。

2023 年度 芦屋ユネスコ協会「総会 & 懇親会」



芦屋ユネスコ協会「2023 年度 総会 & 懇親会」を、下記の通り開催いたします。今回は、初の日曜日開催となります。

芦屋ユネスコ協会創設 75 年となる総会に、皆様と直接お目にかかりご意見を伺えますことは、大変意義深いことです。

今回同封の返信用はがきで、**5月12日(金)まで**に、ご出欠のご回答をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

総会

■日時 5月21日(日)午後2時～3時
＜午後1時30分 受付開始＞

■会場 芦屋市民センター 301 室

【記念公演】 創立 75 周年を記念して心に笑いを～

15:00～
15:30

■会場 芦屋市民センター 301 室

■公演 落語「立候補」

■演者 芦屋亭 健之輔 師匠

【懇親会】 アフターヌーン・ティーを一緒に～

15:30～
16:30

■会場 キッチンカフェなりひら

■会費 1,000 円



トルコ・シリア大地震緊急支援 募金活動を実施 93,674 円を本部へ送金

4月2日(日)、満開の桜の咲き誇る中、さくらまつの会場となった国道2号北側の芦屋川は絶え間なく訪れる人々で賑わっていました。芦屋ユネスコ協会では、午前11時から午後2時までの3時間、市民センター前で「トルコ・シリア大地震緊急支援」の募金活動を実施しました。

多くの皆様からご支援をいただき、ご厚志 93,674 円を日本ユネスコ協会連盟(本部)に送金することができました。芦屋ユネスコ協会の支援活動にご協力くださいました市民の皆様、そして芦屋ユネスコ協会理事の皆様に、心より感謝申し上げます。

◆ 芦屋ユネスコ協会 創立 75 年のあゆみ ◆



昭和 39 年・芦屋ユネスコ会館



昭和 40 年・第 21 回日本ユネスコ運動全国大会

終戦の年にあたる昭和 20 年（1945 年）11 月、心の中に平和の砦を築いて、戦争という人間が作り出す悲劇を再び繰り返さない世の中を作るため、「国際連合教育科学文化機関」つまりユネスコが創設されました。

日本はパリに本部を持つこの機関に昭和 26 年（1951 年）に加盟。それに先立つ昭和 22 年（1947 年）8 月 1 日、芦屋ユネスコ協会（当時は“協力会”）は誕生しました。

そして日本がユネスコに加盟した昭和 26 年（1951 年）には、連盟も各地のユネスコ協力会も以後“ユネスコ協会”に名称が変更されました。

さらに、国内外からの支援をいただき、昭和 39 年（1964 年）東京オリンピックのときには、奥池に「芦屋ユネスコ会館」がオープンしました。

翌昭和 40 年（1965 年）には、ここで「第 21 回日本ユネスコ運動全国大会」が開催されました。

このように、芦屋をはじめとする日本の民間ユネスコ活動は、ユネスコ加盟前の昭和 22 年（1947

年）から行われており、現在も世界の民間ユネスコ活動の推進力となってきました。

しかしながら、平成 7 年（1995 年）に芦屋を呑み込んだあの阪神・淡路大震災で未曾有の被害を被り、芦屋ユネスコ協会は平成 12 年（2000 年）8 月に再スタートするまでの間、やむなく活動休止となりました。再スタート後の芦屋ユネスコ協会は、「平和の鐘を鳴らそう」行事や「世界遺産見学バスツアー」「年末講演会」、「芦屋未来遺産運動」や「世界寺子屋運動」を支える書き損じハガキのキャンペーンほか、多彩な活動に取り組んでまいりました。

そして、コロナ禍の最中であった昨年 8 月、芦屋ユネスコ協会は創立 75 年を迎えました。

まさに、芦屋ユネスコ協会にとって波乱に富んだ 75 年間でした。

新入会員ご紹介

ご入会ありがとうございました。大歓迎です。

★堺谷 真人 様

★小石 寛文 様

★浅井 伊都子 様



2023 年度 年会費 納入のお願い

芦屋ユネスコ協会は、皆さんの年会費によって運営しています。また、「つなげよう 平和の心」を活動方針として、共に生きる世界を目指し、学び・行動するための多くの活動を実践しています。年会費は、総会会場でも受け付けます。また、下記口座へ振り込むこともできます。

【芦屋ユネスコ協会の銀行口座】

◆ 銀行名 三井住友銀行 芦屋駅前支店

◆ 口座番号 普通預金 3901693 ◆ 口座名義 芦屋ユネスコ協会 会長 山中 健